



平成28年度全国学力学習状況調査結果から

4月19日(火)、3年生対象に実施された全国学力学習状況調査の結果が先日公表されました。教科は国語と数学で、それぞれA問題(主として知識を問う問題)とB問題(主として活用を問う問題)に分かれています。また、日常生活の様子や考えていることを問う質問紙調査があります。それぞれの調査からわかってきた課題及びその対策についてまとめましたのでご覧ください。



《学力調査より》

【国語】

- ・漢字や文法などの基礎知識が不足しています。繰り返し練習し、基礎学力の定着を図る必要があります。
- ・「理由」や「根拠」を明確に示す問題に課題があります。意見がはっきりとしていても、それを支える根拠がなければ、答えとしては不十分となります。論理的に記述する学習をさらに行っていきます。
- ・長い文章を書くことを「難しい」と考えている生徒が多い状況です。日頃から文章を書くことに慣れさせることが大切です。

【数学】

- ・無回答の生徒が目立ちます。特に図形分野が多いので図形への苦手意識を克服することが大切です。
- ・身近にある問題を数学的に活用しようという意欲に課題があります。数学と自分の生活との関わりに関心を持ち、興味を持って学習ができるような工夫が必要です。
- ・基礎学力をもっとつける必要があります。徹底した反復練習を授業内だけでなく、放課後や家庭学習でも行い、定着を図っていきます。

《質問紙調査より》



- ・「毎日朝食を食べている」という生徒が全国平均よりも10ポイントも低い状況です。また、就寝時間も午前0時を過ぎて寝る生徒は、全国平均の約2倍となっています。早寝早起き朝ごはんの習慣をさらにつけていく必要があります。
- ・テレビやビデオを見る時間については全国平均に比べ長時間となっています。しかし、ニュースを見る時間は全国平均より短い状況です。情報を読み解く力や社会の動きへの関心に課題があります。
- ・「学校に行くのは楽しいですか」という質問に「とてもそう思う」と答えた生徒の割合や、「好きな授業がありますか」の質問に肯定的な答えをした生徒の割合は、全国平均から見るとやや低い状況です。
- ・「自分にはよいところがある」と考える生徒の割合は、全国平均よりも10ポイント低い状況です。授業をはじめ、あらゆる学校生活の中で、人の役に立ったり自信がつくような取り組みをしていかなければなりません。

《結果を受けて》

学力については、課題が山積しています。基礎基本を徹底的に定着させることと同時に、話し合いや学び合いを通して考える力やまとめる力、発信する力をつけなければなりません。また、家庭学習を充実させるため、自学自習ノートの取り組みを引き続き行っていきます。さらに、「自分は人の役に立つ」という自己有用感を高めるために、学校生活や家庭・地域においても、一人ひとりの生徒が活躍できる場を作り、まわりの大人が積極的に良いところを認めていきましょう。

合唱コンクールのお知らせ

歌声があちこちで聞こえてくるようになり、各クラスでの練習もますます熱を帯びてきました。子どもたちの練習の成果をぜひ観に来てあげてください。

日時： 11月9日(水) 午前11時40分～午後4時
(11時までは入れません。)

場所： 本校 体育館 (誠心館)

※当日はスリッパ(上履き)をご持参下さい。

※お車でのご来校はお控え下さい。

※写真やビデオの撮影はご遠慮ください。



校外学習行ってきました

各学年は学校の外へ出て、普段学べないことを学んできました。1年生は大阪市内で、2年生は奈良公園でフィールドワークを行い、班活動を通して仲間づくりを行いました。3年生は「18歳進路」と称して、大学や専門学校を訪れ、高校卒業後の進路を考えるきっかけにすることで、今の進路を真剣に考えさせる取り組みを行いました。